

豊の国けいちくエコミュージアム～修験と神楽とエコロジー

岩戸開きふたたび！シンポジウム

【3月23日（日）開催】

参加票

参加の方のお名前

団体名・所属	職名	氏名

ご連絡先 _____

E mail _____

F A X

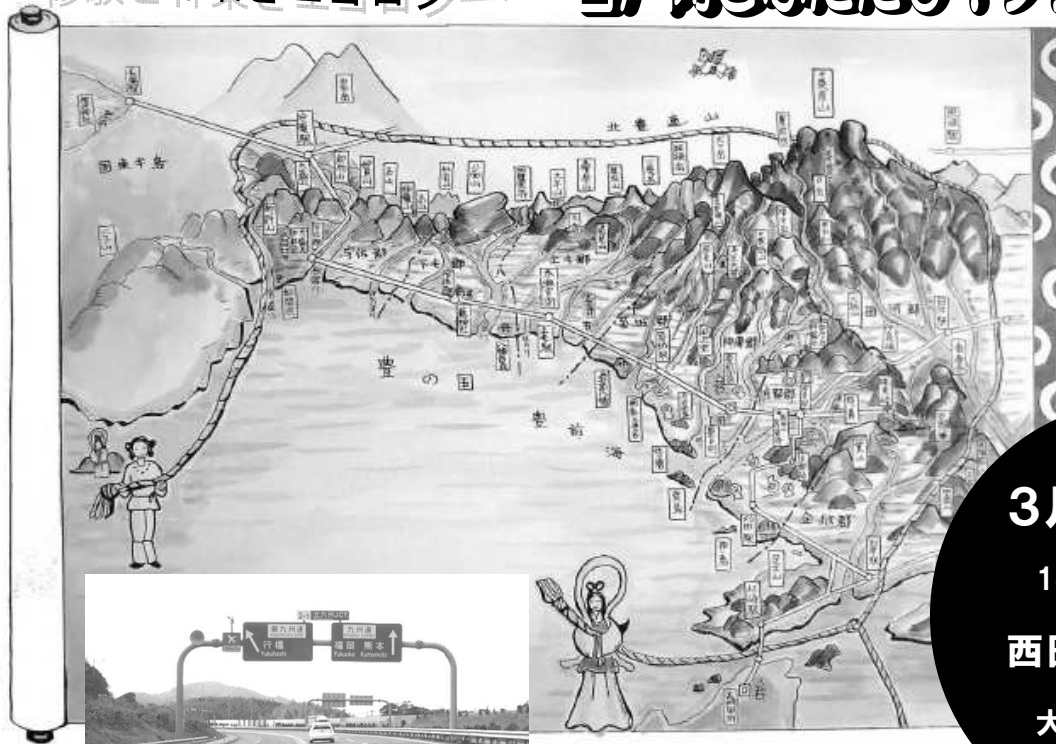
FAX 送付先 092-643-3164

FAXでお送りいただくか、上記の内容をメールでお知らせください。

メール送付先 : miyazaki-t6440@pref.fukuoka.lg.jp

豊の国けいちくエコミュージアム
～修験と神楽とエコロジー～

岩戸開きふたたび！シンポジウム



3月23日(日)

13:00～

西日本工業大学

大講義室

豊の国けいちくは、歴史あり、自然あり、文化あり、佳きひとあり。

つながり、学び合おう、京築

この豊かさを育み、次世代へ伝えるために大切なものは・・・
京築を愛する皆様とわかちあうために、ご参加をお待ちしております。

「岩戸開きふたたび！シンポジウム」開催概要

- ・日 時 平成26年3月23日(日) 13:00～16:30 (受付 12:40～)
- ・会 場 西日本工業大学(おばせキャンパス)本館1階
大講義室 (京都郡苅田町新津 1-11) 0930-23-1491
- ・参加申込について **参加無料**

別紙参加票をFAXでお送りいただくか、
メールで、お名前、所属団体、ご連絡先をお知らせください。

※エコミュージアム・・・

エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)とをつなぎ合わせた造語。

地域全体を博物館とみなし、住民の参加のもとで、その地域で受け継がれてきた自然や文化、環境を、まるごと保存・展示し、地域づくりに活かす考え方です。

・お問い合わせ 京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局(福岡県広域地域振興課第5班)

▼メール miyazaki-t6440@pref.fukuoka.lg.jp 担当 宮崎

▼電話 092-643-3178 ▼FAX 092-643-3164

▼主催 京築連帯アメニティ都市圏推進会議 ▼企画運営 豊の国海幸山幸ネット

■開催趣旨■

霞たなびき、草木が芽吹きはじめ、まもなく季節がめぐります。

平成 23 年 3 月 13 日。東日本大震災直後の豊前市で「豊の国けいちくエコミュージアム岩戸開きシンポ」が開催されました。「エコミュージアム（※）でつながる」をテーマに京築地域の連携や地域活性への取り組みを語り合おうというもの。しかし、大震災の混乱のなか、防災の視点から地域コミュニティについて考えるシンポへと急遽内容を変更することとなりました。

あれから 3 年、京築の人たちは、地域に息づく修験道や神楽、豊かな自然や食、宇都宮鎮房と軍師官兵衛などをテーマに学びあい、つながりをさらに深めてきました。そして 3 月 23 日、東九州自動車道が京都平野（行橋 I C）へ延びる記念すべき日に、ふたたび岩戸が開かれます。エコミュージアムの発想で、京築地域のつながりと、地域づくりのあり方を見つめなおそうというシンポジウム。基調講演には大分県宇佐市で文化財を活かした観光まちづくりを推進している小倉正五氏を迎え、京築地域ならではの地域づくりについて考える内容です。皆様のご参加をお待ちしています。

■スケジュール■

12:40 ～ 受付

13:00 ～ 14:00 ・ ・ 基調講演「**神の国仏の郷の地域づくり（仮）**」

講師 小倉 正五 氏（宇佐市観光協会副会長）

14:00 ～ 14:30 ・ ・ 報告「『**けいちくサルタヒコ養成塾**』の活動」

15:00 ～ 16:00 ・ ・ トークセッション

**「京築地域の新しいつながりと資源を活かした
新しい地域づくりについて（仮）」**

コーディネーター 栗焼 憲児 氏（豊前市総合政策課長）

スピーカー 村上 敏之 氏（築上町商工観光係長）

末永 浩一 氏（上毛町文化財保護係長）ほか

16:00 ～ 16:30 ・ ・ 総括

「豊の国けいちくふるさとミュージアム」宣言

子ども神楽公演 など

基調講演 講師紹介

小倉 正五（おぐらしょうご）氏 1949 年中津市生まれ



大規模圃場整備事業によって、宇佐平野の埋蔵文化財が破壊の危機に直面していた頃、県内で最初に設置された文化財系の専門職員として宇佐市教育委員会に採用される。以来、文化財に関する仕事を担当し、県立宇佐風土記の丘の古墳群の保存、宇佐神宮境内の史跡指定、法鏡寺跡・虚空蔵寺跡の保存、宇佐海軍航空隊関係遺跡の保存など、文化財を生かした魅力的なまちづくりに関する業務に携わり、「文化財・歴史を生かしたまちづくり」から、宇佐市企画課長・総務部長を経てまちづくり全般を担当するようになり、現在は宇佐市観光協会副会長として、地域連携や地域資源を活かした観光まちづくりを推進。

■会場へのアクセス■

公共交通機関／JR 小倉駅より、在来線 JR 日豊本線（大分方面）に乗り継ぎ、

8つ目の JR 小波瀬西工大前駅で下車、すぐ。（所要時間：約 25 分）

自家用車の方／駐車場あります（100台）



西日本工業大学 おばせキャンパス

